



江別市生涯学習推進協議会 令和2年度総会を終えて



江別市生涯学習推進協議会
会長 谷川 幸雄

会員の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から多くの人が集まる会議・行事は自粛し、当協議会におきましても「書面会議」を行うなど改善を図ってまいりました。

8月末の統計によると世界は2500万人を超え、国内では7万人を超える感染者が出ております。目に見えない敵(コロナウイルス)と戦うことは、挑戦の方法あるいは戦略も判らぬ不安と恐怖の日々を送られていることと思えます。

今回は三密(密集、密接、密閉)を避けるために、理事会、総会は書面会議をもって実施をいたしました。こんな状況にあつては、みんなが心を合わせ、知恵を出し合い、そして、力を結集して、創造性豊かな発想をもって挑戦することを忘れてはいけないと思えます。

そこで、今年度の活動の基本方針として、次の活動方針を考え、推進してまいりたいと考えております。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【令和2年度 活動の基本方針】

(1)生涯学習活動の充実・発展に努める

本協議会は今年度も一人ひとりが「やりがい」「生きがい」のあるまちづくりに参画し、市民・行政協働型の生涯学習活動の推進に努める。

(2)生涯学習推進のための情報の提供に努める

市民が自主的・主体的に生涯学習活動を行うために、学習の機会や場の提供、指導者などに関する情報の収集に努める。

(3)組織活動の充実・拡充に努める

本協議会の運営に当たって、教育委員会に事務局を置き、各関係機関と連携を図り、相互に補充し合い、学びの輪を広げ地域力の向上に努める。

(4)学校と地域の連携・協働に努める

学校教育活動を地域振興に包含し、教育力の向上を図る。特に、小・中学校の活動の場を開放するなど、可能な範囲で努める。

謝心

陰で支えてくれる人、
今の自分がある！

何が起っても
喜びと感謝を
忘れず生きよう！

総務委員会

総務委員長 齊藤 徹

総務委員会の主な担当は、協議会の運営、近隣都市の生涯学習の取り組みを研修する視察研修の企画実施と、リレー講座の開催です。が、新型コロナウイルスの状況を鑑み、視察旅行を取りやめ、リレー講座は例年の9月開催を延期することになりました。

リレー講座は検討のうえ、11月6日、13日、27日の金曜日、午後6時30分から江別市民会館で開催することにしました。今回の講座では、受講者アンケートに希望が多く寄せられた「歴史」を取り上げ、全体テーマを「江別を知るタイムトラベル」とし、石狩川、産業遺産馬のいた風景について各講師が歴史の旅にお連れします。

このリレー講座は、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを避けるため、定員を100名から30名にし、会場ではマスク着用、検温、適時換気を実施し、机1台に対し椅子1脚を配置し、受講者同士の距離を保つなどのコロナ対策を行います。なお、感染拡大の状況によっては、内容の変更や開催を中止する可能性もあります。



事業委員会

事業委員長 佐藤 ひとみ

今年度は年度当初よりコロナ禍の渦に巻き込まれ、一年間の活動を見直しざるを得ない事業も出てきた中、知恵を絞り計画しました。二つの事業のうち一つ目の「支援事業」は書類での募集でしたが、例年通りに行いましたが、何せ肝心の支援金を使いたい事業が実施できないという事態になっていまして、応募がまったくありませんでした。そこで委員会で協議をした結果、今までももたれていました「再募集」の形をとることにしました。これから来年3月までに事業を考えたい団体はぜひ応募してほしいと思います。

もう一つの「ら・ら・らフェスティバル」は密となるイベントなので中止とし、代わりに加盟団体を紹介する「冊子」を発行することにしました。過去に何度か出している「生きること・学ぶこと」の2020年版として市民の皆さんに愛読していただければと思います。

広報委員会

広報委員長 西懸 昭子

今年度の広報委員会は、当会を含め加盟団体の皆さんが先の見えない新型コロナウイルス流行により事業活動を自粛している中のスタートになりました。

例年8月に1回目の「ら・ら・ら」発行を予定しておりましたが、2か月遅れでの発行となりました。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。このような事態となりましたので、残念ながら今年度は3回の発行とさせていただきますことをご報告いたします。

そこで委員会としては、まずHPの充実をはかります。自宅に居ながらにして生涯学習意欲へ向けて情報を得やすく加盟団体の皆さん

んの活動の様子などを発信していきます。

また、新企画として今年度は各事業を振り返る特集を載せていきます。今号は、やむなく中止となりました「ら・ら・らフェスティバル」を振り返りました。

誌上ではありますが、なつかしく楽しんで頂けましたら幸いです。

さらに、各団体の皆さんにご協力いただく企画として「これからWITHコロナ」として、新スタイルでの事業展開を求められると思われまので、どのような工夫をされて活動しているのか、取材などしながら紹介できたらと思っております。

今年度も加盟団体皆様のご参加ご協力よろしくお願いいたします。



会員紹介冊子「生きること 学ぶこと」を発行します!

毎年、当会員の日頃の活動を紹介するため、「ら・ら・らフェスティバル」を開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、誠に残念ながら中止としました。

会員の活動を紹介する場が減っている中で、コロナ禍でも生涯学習の大切さ・楽しさを市民の皆さんにお伝えしたいと考え、会員紹介冊子「生きること 学ぶこと」を発行することとしました。

令和3年3月頃の完成をめざし作成を進めていますので、皆さん楽しみにお待ちしております!

令和2年度生涯学習リレー講座
くえべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座

生涯学習に関するテーマで、専門の講師をお招きして全3回の講座を開催します。今回は「江別を知るタイムトラベル」と題し、江別の歴史についてお話ししますので、お気軽にお申込みください。

入場無料

- ◇主催 江別市生涯学習推進協議会
- ◇日時 講座1 「江別の歴史と石狩川の関わり」
11月6日(金) 18:30~20:00
講師：(一社)流域生態研究所 代表理事所長 妹尾 優二 氏
- 講座2 「江別市の産業遺産について」
11月13日(金) 18:30~20:00
講師：北海道産業考古学会 会長 山田 大隆 氏
- 講座3 「馬のいた風景」
11月27日(金) 18:30~20:00
講師：(株)江別振興公社 代表取締役社長 齊藤 俊彦 氏
- ◇会場 江別市民会館21号室(江別市高砂町6)
- ◇定員 先着30名
- ◇申込 電話、FAX、Eメールなどで受付。

◇問い合わせ先はこちら 江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習係)

Tel:011-381-1062 Fax:011-382-3434 E-mail:shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp



「生涯学習フェスティバル」から「ら・ら・らフェスティバル」へ!



スポットを当てて、写真展を開催。

平成11年度では、「国際交流とまちづくり・私の提言」をテーマに「国際交流弁論大会集録」を発売しています。

平成12年度フェスティバルは、キユーバから「ロス・ナランホス」が来日し、えぼあホールでコンサートを開催。由緒正しい「ソング」(ラテン音楽)を演奏し、場を盛り上げました。

平成13年度から、生涯学習フェスティバルがスタート。テーマは「この時代の問う」。第1回から第5回で「キル社会的親子関係」や「学ぶこと・育つこと」など多岐にわたる講座が開かれました。現在のリレー講座に発展します。

平成14年度〜平成16年度では、シンポジウムを中心に様々なテーマでの講演やディスカッションが行われています。平成15年度には、谷川幸雄氏が3代目会長に就任しました。

平成17年度には、「生涯学習リレー講座」と「会員活動発表会」が始まりました。出演団体は、江別保健所管内栄養士会やおはなしなあになどが発表しています。

平成18年度、「会員活動発表会」では、江別市国際交流協会、野幌商店街振興組合などが発表しています。

平成19年度、「会員活動発表会」では、北翔大学、一銭五厘の会などが発表しました。

平成21年度、「会員活動発表会」出演団体は、江別認知症の家族を支える会、江別創造舎、高齢者クラブ連合会など、身近な団体の発表でした。

平成22年度、「会員活動発表会」出演団体は、江別芸能赤十字奉仕団、札幌学院大学など。

平成23年度、「会員活動発表会」出演団体は、江別家庭生活力アップグループ、3B体操江別サークル、江別手をつなぐ育成会などです。

平成24年度、「生涯学習フェスティバル」が始まりました。出演団体はMOA美術文化サークル、江別まっことええ&北海道情報大学、江別市警察学園など、幅広い団体が参加しています。

平成25年度、「生涯学習フェスティバル」が定着し始めます。出演団体は、こども文化ネットワーク・江別、D・魂(だん)すたまし(い)、江別市女性団体協議会など。

平成26年度、市民会館小ホールで行われました。「生涯学習フェスティバル」の出演団体は、江別市食生活改善協議会、江別消費者協会、NPO法人さいわい成年後見センターなどです。

平成27年度、協議会設立20周年記念大会。野幌公民館で開催。オープニングは「江別まっことええ&北海道情報大学」によるYOSAKOIソーラン舞です。記念講演では、江別市在住の版画家・絵本作家の手島圭三郎先生による「ふるさとと人生」というテーマのお話や、「しまぶくろうのみずうみ」をスクリーンに映し、読み聞かせを行いました。

平成28年度、野幌公民館1階を



ほぼ借り切りで開催。ピザのトッピング体験、茶道体験は初めての試みでしたが、大好評でした。参加のスタイルも体験・展示・ステージ発表と多彩で各団体が参加しやすい形でのフェスティバルになっています。

平成29年度、野幌公民館で三年目を迎え、より多くの市民の皆様にご参加いただきました。多種多様な活動をしている団体が、それぞれの特徴を出し合い、「やってまナビ2017」で受け身ではなく自ら進んで未知のことをやってみる前向きな機会にしてもらえたら、の思いです。

平成30年度、野幌公民館の一階をほぼ借り切ったのフェスティバルも4年目となり、北翔大学金管アンサンブルの演奏などが行われました。



令和元年度は、さらに新たな取り組みにより、来場者が300名を超えることができました。事業のタイトルを「生涯学習フェスティバル」から「ら・ら・らフェスティバル」へと変えて、イメージアップしました。開始も午後から午前へと早くなり、準備時間が2時間も少なくなるも、無事開催することができました。ステージ発表では、江別小学校合唱団がすてきな歌声を披露してくれました。

えべつ手話の会による、手話紹介・手話コーラスの発表もすばらしいものでした。2018年12月に「手話言語条例」が制定され、今後さらに手話の普及を進めていければと思います。

「生涯学習フェスティバル」で始まって「ら・ら・らフェスティバル」へと変わり、発表主体から活動発表の場へと発展してきたフェスティバルは、今後更に皆様に親しまれるイベントへ進んでまいります。応援の程よろしくお願ひ致します。

中村 康治

これからのイベント

◆NPO法人えべつ協働なっとわーく(連絡先/成田:011-374-1460)

○江別まち検定

日時/2020年11月29日(日) 初級 10:00~11:00・上級 13:00~14:00

場所/市民交流施設びらつと

受検料/各1,000円

江別を知って江別をもっと好きになる!

※申し込みについては、直接お問い合わせください。



手話をまなぼう 「れんが」



「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていたら、手話の動画がご覧になれます。今回は特産品の手話です。



まなぼう Vol.9

江別市自治会連絡協議会 会長 武田 正義

私たち江別市自治会連絡協議会は、江別市の自治会の課題解決や活動推進を目的に設立され、様々な課題をテーマとしたセミナーや他市との交流会などの各種事業を行い、地域交流を図っています。またHPの運営もしておりますので是非ご覧ください。



《編集後記》

コロナ禍の中、新しい生活様式に慣れてきた日々、いかがお過ごしですか?
一昔前の暮らし方に、今を生きるヒントがある気がします。知恵と工夫の生活に「ら・ら・ら」がお役に立てますように。お元氣な毎日を!

松山 和子